

共同利用施設 案内

主任：福田文彦

(臨床鍼灸学ユニット：内線537)
f_fukuda@meiji-u.ac.jp

室名：行動解析・分析室

場所：

5号館3階

内線：279

施設利用手引き

概要：動物実験のための研究室

無麻酔無拘束下での行動実験、脳内モノアミン量の測定(ブレインマイクロダイアリスシステム)、各種試薬の調整ができる。

共同利用機器備品リスト：

1. ブレインマイクロダイアリスシステム 1式
(株式会社エイコム、HTEC-500 1台)
(株式会社エイコム、マイクロシリンジポンプ 1台)
(株式会社エイコム、オートインジェクター 1台)
2. 光学顕微鏡
(オリンパス株式会社、CX-41 1台)
3. 超音波ホモジナイザー
(hielscher UP50H 1台)
4. 触覚(痛覚)閾値測定セット
(自作 2台)
(フォンフライ 1セット)
5. 電気刺激装置
6. 試薬調整機器
天秤2種類、攪拌器、pHメータなど

機器用途【なにができる？】

1. 脳内の目的とする部位へプローブを挿入し、無麻酔、無拘束下でモノアミン(主にドパミン、セロトニン、ノルエピネフリンが測定できる)
2. 小区画に区切られた実験台にて行動実験を行える
3. 触覚閾値(行動実験)を測定することができる。
4. 脳などの組織中にある物質を抽出するために組織をホモジナイズすることができる。(モノアミンの分析は、2F生理活性物質分析室で測定可)
5. 組織切片を確認すること、簡易な撮影をすることができる。
6. 鍼通電刺激などの電気刺激を行うことができる
7. 各種試薬を作成することができる。



利用の手引き

行動解析・分析室の利用について

1. この部屋は、主に無麻酔、無拘束下の動物の実験、実験結果の分析(2F生理活性物質と連動)及びその試薬調整のための実験室です。
2. 初めてこの部屋の使用する際には、実験責任者(教員)より主任にご連絡ください。
3. この部屋は、動物実験のための部屋です。使用に際しては、以下の点に注意してください。
 - ・この部屋の使用後は、実験台、実験室の清掃を行って次に使う使用者が気持ち良く使用できることを心がけてください。
 - ・各実験台に使用予定のカレンダーを設置します。使用予定・時間を厳守して使用してください。
 - ・この部屋は、多くの方が使用します。他の使用者の実験研究に支障がない使い方をお願いします。
4. この部屋の備品は、3種類に管理者が分類されています。
 - ・青色ラベル: 使用者は許可なく使用してください。
 - ・黄色ラベル: 使用者は、使用方法を事前に管理責任者に聞いてください。
 - ・赤色ラベル: この備品は、各教室管理の備品です。使用に際しては、ラベルの教室にご相談ください。

5. この部屋の消耗品について

- ・ピペットチップ・キムタオル・キムワイプ・ゴミ袋、洗剤などの消耗品は、この部屋の運営費で購入しています。必要に応じて使用してください。(ただし、無駄使いには注意してください)
 - ・その他の実験に必要な消耗品は、各使用者でご用意ください。その場合、必ず箱などに使用者氏名を記載してください。(氏名が無い場合は、共同の消耗品として扱う場合があります)
- 不明な点は、主任にお尋ねください。